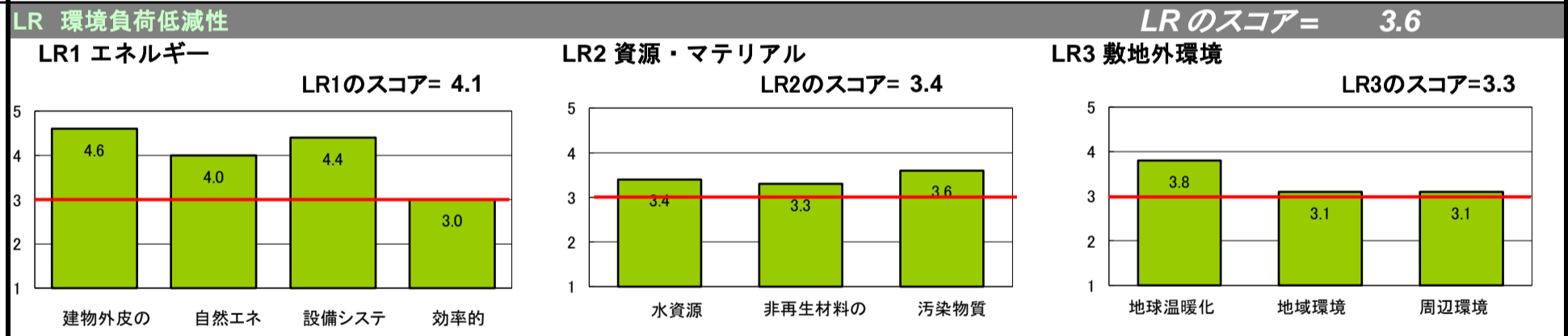
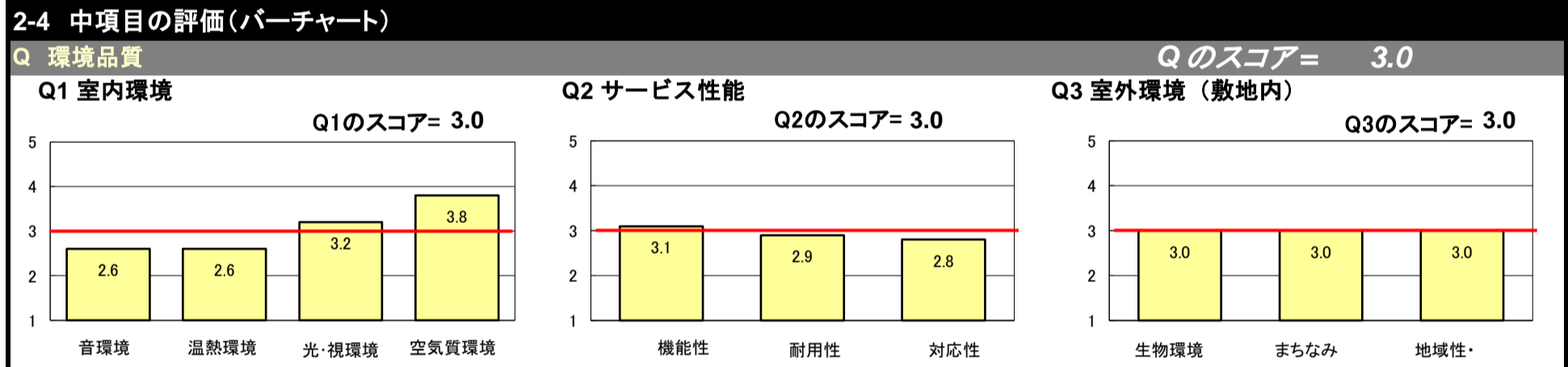
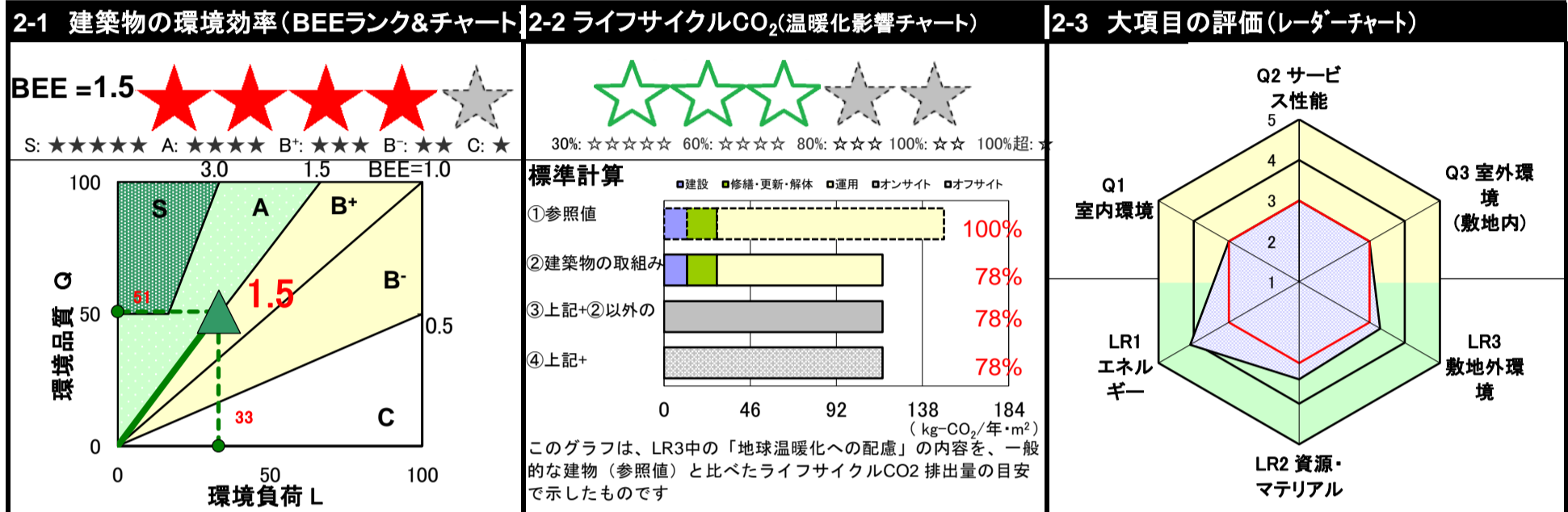


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	社会福祉法人亀泉会 特別養護老人ホーム寿敬園	階数	地上4階
建設地	愛知県稲沢市平和町観音堂東海塚26、27、28	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	154人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2021年9月 予定	評価の実施日	2020年3月11日
敷地面積	5,919 m ²	作成者	大澤 昌弘
建築面積	1,776 m ²	確認日	2020年3月12日
延床面積	4,883 m ²	確認者	大澤 昌弘



3 重点項目					
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.8</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>3.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td>35.4 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td>0.0 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	35.4 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	35.4 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.1</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} - \text{建築面積} + \text{附属物面積}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		独自基準		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目	重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体		
Q 建築物の環境品質													3.0
Q1 室内環境													3.0
1 音環境													2.6
1.1 室内騒音レベル													3.0
1.2 遮音													0.4
1 開口部遮音性能													3.0
2 界壁遮音性能													3.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)													3.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)													3.0
1.3 吸音													1.0
2 温熱環境													2.6
2.1 室温制御													0.3
1 室温													3.0
2 外皮性能													3.0
3 ゾーン別制御性													3.0
2.2 湿度制御													3.0
2.3 空調方式													3.0
3 光・視環境													3.2
3.1 昼光利用													0.2
1 昼光率													3.0
2 方位別開口													3.0
3 昼光利用設備													3.0
3.2 グレア対策													0.3
1 昼光制御													3.0
3.3 照度													3.0
3.4 照明制御													3.0
4 空気質環境													3.8
4.1 発生源対策													0.5
1 化学汚染物質													3.0
4.2 換気													0.3
1 換気量													3.0
2 自然換気性能													3.0
3 取り入れ外気への配慮													3.0
4.3 運用管理													0.2
1 CO ₂ の監視													3.0
2 喫煙の制御													3.0
Q2 サービス性能													3.0
1 機能性													3.1
1.1 機能性・使いやすさ													0.4
1 広さ・収納性													3.0
2 高度情報通信設備対応													3.0
3 バリアフリー計画													3.0
1.2 心理性・快適性													0.3
1 広さ感・景観(天井高)													3.0
2 リフレッシュスペース													3.0
3 内装計画													3.0
1.3 維持管理													0.3
1 維持管理に配慮した設計													3.0
2 維持管理用機能の確保													3.0
2 耐用性・信頼性													2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振													0.3
1 耐震性(建物のこわれにくさ)													3.0
2 免震・制震・制振性能													3.0
2.2 部品・部材の耐用年数													0.3
1 躯体材料の耐用年数													3.0
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔													2.0
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔													3.0
4 空調換気ダクトの更新必要間隔													3.0
5 空調・給排水配管の更新必要間隔													5.0
6 主要設備機器の更新必要間隔													3.0
2.4 信頼性													0.1
1 空調・換気設備													3.0
2 給排水・衛生設備													3.0
3 電気設備													3.0
4 機械・配管支持方法													3.0
5 通信・情報設備													3.0

3 対応性・更新性				0.2	2.9	0.29	2.7	2.7	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり				0.3	2.8	0.31	2.4	2.4	0.50	
1 階高のゆとり				-	2.0	0.60		2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				3.0	4.0	0.40		3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	0.31		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				0.3	3.0	0.38				
1 空調配管の更新性			②		3.0	0.17				
2 給排水管の更新性				3.0	3.0	0.17				
3 電気配線の更新性				3.0	3.0	0.11				
4 通信配線の更新性				3.0	3.0	0.11				
5 設備機器の更新性				3.0	3.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保				3.0	3.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30		-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			独自③		3.0	0.30		-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④		3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	3.0	0.30		-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④		3.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-		-	-	3.6
LR1 エネルギー					-	0.40		-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPI _m =0.84(モデル建物法による評価結果)	3.0	4.6	0.30		-	4.6
2 自然エネルギー利用				トップライト、光庭の採用	3.0	4.0	0.20		-	4.0
3 設備システムの高効率化				BEI _m =0.73(モデル建物法による評価結果)	3.0	4.4	0.30		-	4.4
4 効率的運用					0.2	3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価					1.0	3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング					3.0	3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制					3.0	3.0	0.50		-	
集合住宅の評価					-	-	-		-	
4.1 モニタリング					-	3.0	-		-	
4.2 運用管理体制					-	3.0	-		-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30		-	-	3.4
1 水資源保護					0.1	3.4	0.15		-	3.4
1.1 節水				自動水栓・節水型便器を採用	3.0	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.67		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	3.3	0.63		-	3.3
2.1 材料使用量の削減					-	2.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					-	3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			②	-	-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			独自	ソーラトン(天井)	3.0	3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	2.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自	壁下地にLGSを採用、OAフロア、可動間仕切り壁の採用	3.0	5.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	3.6	0.22		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				接着剤は規制対象外の種類を採用(A-14のシックハウス対策参照)	3.0	4.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	3.5	0.68		-	
1 消火剤					-	-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)				ODP=0、GWP値の低い断熱材の採用	-	4.0	0.50		-	
3 冷媒					3.0	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境					-	0.30		-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2排出率78%	-	3.8	0.33		-	3.8
2 地域環境への配慮					0.3	3.1	0.33		-	3.1
2.1 大気汚染防止					-	3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善					-	3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	3.5	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			独自		-	3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制					-	3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			独自	評価する取組みが4つ	-	5.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制					-	3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮					0.3	3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40		-	
1 騒音			独自		-	3.0	1.00		-	
2 振動			独自		-	-	-		-	
3 悪臭					-	-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					0.4	3.0	0.40		-	
1 風害の抑制					-	3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制					-	3.0	-		-	
3 日照障害の抑制					-	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制					0.2	3.7	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				評価の取組み表の評価ポイントが3ポイント、広告物照明を行っていない	-	4.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					-	3.0	0.30		-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

社会福祉法人亀泉会 特別養護老人ホーム寿敬園

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	
② 資源の有効活用				3.1
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	2.9	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.3	0.19	
③ 敷地内の緑化				3.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	外構緑化:35.4%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 社会福祉法人亀泉会 特別養護老人ホーム寿敬園

計画上の配慮事項	
総合	省エネ器具の採用により、二酸化炭素排出の低減に努めている。
Q1 室内環境	使用する建材は主にF☆☆☆☆を採用している。
Q2 サービス性能	入居者が満足できるよう、十分な個室スペースを確保している。
Q3 室外環境(敷地内)	外構緑化を積極的に行っている。
LR1 エネルギー	断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮する。
LR2 資源・マテリアル	主要水栓に自動水栓、節水型便器を採用し、節水に努めている。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出量の抑制に配慮している。
その他	特に無し。